

12月23日(祝) 正午開通します

開通イベントを開催します

「都市計画道路大館駅東大館線(22m道路)」の大館駅前―清水1丁目区間がいよいよ開通します。当日は開通式典、渡り初めのほか、御成町1丁目(大館駅前)・弁天町の各特設会場で開通イベントが盛大に行われます。ご家族おそろいでぜひお越しください。



釈迦内松木地区と清水1丁目を結ぶ松木地下道は来年1月に完成する予定です。



12月23日(土)

開通式典・渡り初め

9:30~10:30

ところ
小坂鉄道大館駅前踏切脇

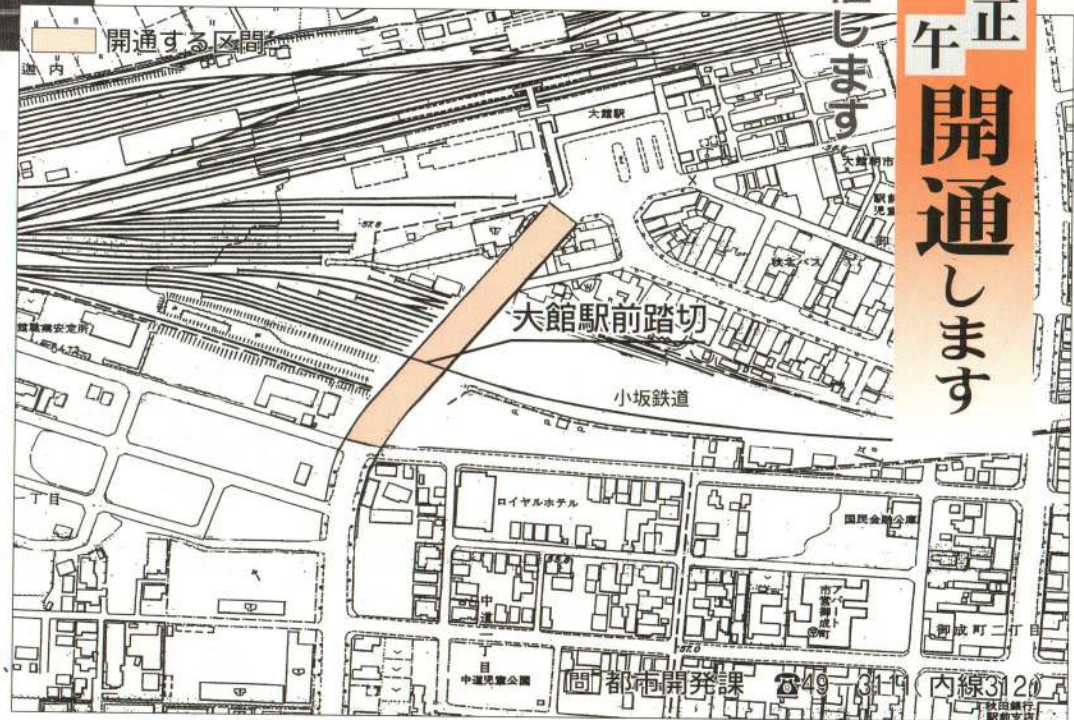
開通イベント

御成町1丁目会場
(大館駅前広場)
10:30~15:00

主な催し
東中学校の闘魂太鼓、
一成講のはやしと踊り、
屋台・物産販売、バザー

弁天町会場(料亭「柴田庵」
「山形家」間の通り)
10:30~14:30

主な催し
餅つき大会、大館ばやしの演奏、お楽しみ抽選会、
キリタンポどんぶり販売



平成十二年を振り返って

市長リポート

No. 219

今年一年を振り返ってみますと、元日のいわゆる「二〇〇〇年問題」から始まったことに象徴されますように、二十一世紀を目前に控え今世紀中にやらなければならないことを大急ぎで行った準備の年であったと感じています。

二十一世紀を「環境の時代」として見ますと、市ではISO14001の認証を取得しました。このほか、リサイクル産業の本格稼働に向けて、(株)エコリサイクルの家電リサイクル工場も試験稼働を開始しました。また、真中地区でコンポストセンターの建設に着手するなど、各分野で環境施策を実行しています。これまで二十世紀の大館を支えてきた基幹産業である農業・林業・鉱工業は、この百年間で興隆と衰退を経験し、現在は大きな転換期にあるといえます。新年は、大館市にとってこの三つの産業が「環境」という新しい軸によって生まれ変わる雄飛の年になると確信しています。

続いて、新世紀を「高齢社会の時代」と位置付けるとき、介護保険法が四月に施行され、高齢者が安心して暮らせるための基盤が整いつつあります。また、市民の皆さんの健康を守る市立総合病院のリニューアルに向けても、今年から本格的な準備が始まりました。

「都市基盤整備」の面からみましても、半世紀ぶりに大きなステップを踏み出し、大館駅と東大館駅が一本の道路で結ばれるのも目前に迫っています。さらに十月には、大館市ホームページへのアクセス数が昨年の更新以来三万件を突破し、市民の皆さんの生活に定着、活用いただいているほか、大館を広くアピールするための情報発信源の一つとして貢献するなど、情報化の進展も加速しました。

これらのステップを大成したものが、来年度から始まる「二十一世紀の大館市総合計画」です。新世紀の幕開け、新しい大館が大きな最初の一步を踏み出します。

小畑 元